

次の問題をよく読んで、正しいと思うものには「正」を、誤りと思うものには「誤」を、それぞれ答えなさい。ただし、問91~95のイラスト問題については、(1)~(3)のすべてに正解しないと得点にはなりません。

1 2  
目 目

- 問1 車を運転中に転回する場合は、転回しようとするときに合図をしなければならない。
- 問2 交通事故で外傷がなくても、頭部に強い衝撃を受けたときは、医師の診断を受けたほうがよい。
- 問3 走行中、後車輪が左へ横滑りしたときは、ハンドルを左へ切れば横滑りを防ぐことができる。
- 問4 図1の標識のある道路では、原動機付自転車は通行できない。
- 問5 車は、安全地帯の標示や島状の施設の中には、どんな理由があっても絶対に入ってはならない。
- 問6 道路に面した場所に出入りするため、車が車道や路側帯を横切るときは、歩行者がいなければ徐行して通行できる。
- 問7 車とは、自動車、原動機付自転車のことをいう。
- 問8 片側3車線の道路の交差点で、青信号で右折する原動機付自転車は、自動車と同じ方法で右折しなければならない。
- 問9 二輪車のチェーンは、中央部分を指で押してみても20ミリメートル程度の適度な緩みがあるのがよい。
- 問10 大地震が発生して車を置いて避難するときは、エンジンキーを抜き取り、ドアはロックしておく。
- 問11 図2の標識は、前方に優先道路があることを表している。
- 問12 自動車（二輪車などを除く）には、停止表示器材、赤旗、赤ランプ、発炎筒などの非常信号用具を備えつけておかなければならない。
- 問13 高速自動車国道であっても、故障した車をロープでけん引して通行することができる。
- 問14 普通免許試験に合格すれば、免許証を交付される前に普通自動車を運転しても、無免許運転にはならない。
- 問15 前車との車間距離は、制動距離とほぼ同じくらいの距離をとればよい。
- 問16 総重量2トンの故障車を、総重量5トンの自動車でロープでけん引するときの最高速度は、40キロメートル毎時である。
- 問17 総排気量660cc以下の普通自動車に積むことができる荷物の高さの制限は、地上から3メートルまでである。
- 問18 図3の標識は、前方に路面電車の停留所があることを表している。
- 問19 信号機が赤色であっても、左折可の標示板があるときは、歩行者や自転車に優先して左折できる。
- 問20 前面のガラスが乾いているときにワイパーを動かすと、ガラスに傷をつけることがある。
- 問21 交差点の付近以外の道路で、前方から緊急自動車が接近してきたときは、そのまま進行を続けてもよい。
- 問22 上り坂の頂上付近は追い越しが禁止されているが、こう配の急な下り坂は禁止されていない。
- 問23 運転中は、法令を守っていれば、他の車などに道を譲る必要はない。
- 問24 普通免許を受けて1年未満の運転者は、運転する普通自動車の前後に初心運転者標識を表示しなければならない。
- 問25 図4の標識は、「追い越し禁止」を表している。
- 問26 タイヤの溝が浅くなると、路面との摩擦が大きくなる。
- 問27 仮免許で普通自動車の運転練習をするとき、横の座席に同乗する指導員は、第一種免許を受けていなければならない。
- 問28 乗車定員5人の乗用自動車には、運転者のほかに大人2人と12歳未満の子ども4人を乗せて運転できる。
- 問29 警察官が両腕を頭上に高く上げたときは、警察官の正面に平行する方向の交通は、信号機の黄色の信号と同じ意味である。
- 問30 白色や黄色のつえを持った人、盲導犬を連れた人が通行しているときは、一時停止か徐行をして、その通行を妨げてはならない。
- 問31 安全な速度は、運転技量によって決まるので、道路や交通の状況、天候や視界などはあまり考える必要はない。
- 問32 図5の標識は、「優先道路」を表している。
- 問33 濃霧が発生したので、前照灯を上向きにつけて運転した。
- 問34 横断歩道や自転車横断帯とその端から前後5メートル以内の場所は、駐車も停車も禁止されている。



図1



図2



図3



図4



図5

- 問35 免許を受けた者が、住所を他府県に移動したときは、移動する前の住所地の公安委員会に届け出なければならない。
- 問36 原動機付自転車の積載制限の幅は、荷台の幅に左右それぞれ0.3メートルまではみ出して積むことができる。
- 問37 対向車がなかったのに、大型自動車を追い越そうとしている前車を追い越した。
- 問38 後退灯は、チェンジレバーをバックに入れたときに点灯する。
- 問39 図6の標示のあるところでは、車の立入りが禁止されている。
- 問40 自動車の運転者は、交通事故を起こさない自信があれば、強制保険に加入しなくてもよい。
- 問41 自家用の普通乗用自動車の定期点検は、12ヶ月ごとに行わなければならない。
- 問42 横断歩道のない交差点を歩行者が横断しているときは、徐行や一時停止などをして、歩行者の通行を妨げてはならない。
- 問43 車は、信号機が黄色を表示したときは、必ず停止位置の直前で停止しなければならない。
- 問44 進路変更の合図をしてから3秒以上たったときは、後続車が接近していても、進路を変えることができる。
- 問45 路線バスの運行終了後であれば、バスの停留所の標示板から10メートル以内の場所でも、駐車や停車をすることができる。
- 問46 図7の標識のある車両通行帯は、路線バスなどが通行するので、普通自動車は通行できない。
- 問47 50キロメートル毎時で走行中の車間距離は、35メートルぐらいとれば一応安全といえる。
- 問48 標識に従って軌道敷内を通行中、後方から路面電車が接近してきたときは、軌道敷外に出るか、必要な距離を保たなければならない。
- 問49 車を後退させるとき、同乗者の誘導を受けると判断に狂いが生じるので、運転者の判断だけで後退させたほうがよい。
- 問50 交差点で右折をする場合は、自分が先に交差点に入っている場合、反対方向から直進車が来たときは、その進行を妨げてはならない。
- 問51 狭い道路で歩行者と行き違うとき、0.5メートルぐらいの間隔しかとれなかったので徐行した。
- 問52 二輪車のハンドルは、運転しやすければ変形に改造してもよい。
- 問53 図8の標識をつけている車に対しては側方への幅寄せや前方への割り込みが禁止されている。
- 問54 幅が1.5メートルを超える白線1本の路側帯のある道路で駐車するときは、車を路側帯の中に入れ、車の左側に0.75メートル以上の余地を残す。
- 問55 オートマチック車は、エンジン始動直後にチェンジレバーを「D（ドライブ）」に入れると、急発進することがある。
- 問56 自動車（二輪車を除く）の所有者は、住所などから2キロメートル以内に、保管場所を確保しなければならない。
- 問57 車を運転して集団で走行するときは、他の車に危険を感じさせたり、迷惑をかけたりするような運転をしてはならない。
- 問58 高速道路に入るときは、燃料、冷却水、エンジンオイル、タイヤの空気圧などを点検しなければならない。
- 問59 高速自動車国道で車が故障したときは、路肩や路側帯ならばどこでも左側に寄せて駐車できる。
- 問60 図9の標識があるところでは、駐車が禁止されている場所であっても駐車できる。
- 問61 対向車のはみ出しで、正面衝突が避けられそうもなかったのに、やむを得ず道路外の空き地の中へ乗り入れた。
- 問62 乾いている舗装道路で、50キロメートル毎時で急ブレーキをかけたときの停止距離は、おおよそ20メートルである。
- 問63 エンジンがかかるのに、スイッチを入れても前照灯がつかないときは、まずヒューズを調べる。
- 問64 横断歩道の手前30メートル以内の場所で、前方の自動車を追い越した。
- 問65 信号機のない踏切を前車に続いて通行するときは、安全を確認して徐行すればよい。
- 問66 運転者が疲れてくると、危険を認知してから判断するまでに時間がかかるので、空走距離が長くなる。
- 問67 図10の補助標識は、いずれも同じ意味を表している。
- 問68 信号機が赤信号でも、青色の左折の矢印が表示されたときは、すべての車は左折することができる。
- 問69 貨物自動車の荷台に壊れやすい物を乗せて運搬するため、見張りの人を1人荷台に乗せて運転した。
- 問70 高速自動車国道から出るときは、減速車線に入ってから速度計で速度を確かめながら減速する。
- 問71 雨の日は、地盤が固くなっているので、路肩を通行しても安全である。
- 問72 原付免許を受けると、エンジンの排気量が50cc以下のミニカーを運転することができる。
- 問73 障害物に衝突が避けられないと分かったとき、速度を2分の1に落とせば、衝撃力は4分の1に減ることになる。
- 問74 図11の標示は、「安全地帯」を表している。
- 問75 車体の下にエンジンオイルや冷却水が少量漏れていても、装置に異常がなければ運転してもかまわない。



図6



図7



図8



図9



図10



図11

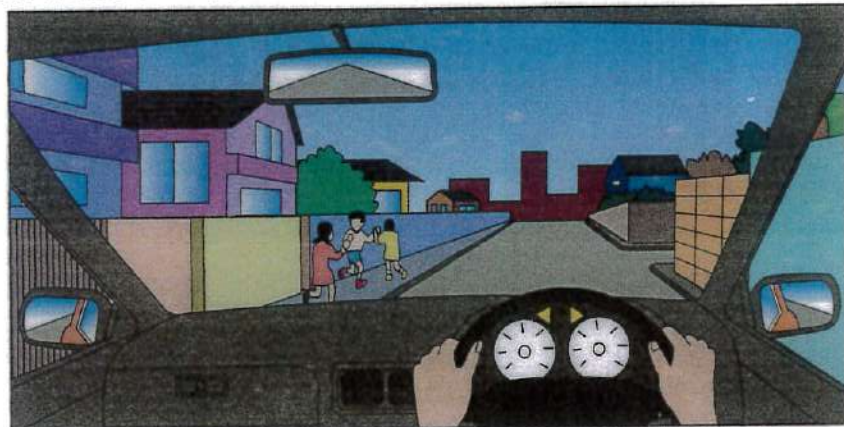
- 問76** 歩道も路側帯もない道路で駐車や停車をするときは、道路の左端に沿って停止させなければならない。
- 問77** 交通事故が発生しても、自分に過失がないときは、警察官に事故報告をしなくてもよい。
- 問78** 普通自動車は、左側部分に2つの車両通行帯がある道路では、右側の通行帯を通行しなければならない。
- 問79** 指定消防水利の標識から3メートルの場所に車を止め、友人が来るのを4分間ほど待った。
- 問80** 前方50メートル先が確認できないトンネルを通行するときは、前照灯やその他の灯火をつけなければならない。
- 問81** 図12の標識のある場所では、たとえ上り坂を通行する車であっても、その待避所に入り、対向車に道を譲るようにする。
- 問82** 二輪車は、体で安定を保って走るので、四輪車とは違った運転技術が必要である。
- 問83** 高速自動車国道を80キロメートル毎時で走行しているときの車間距離は、50メートルぐらいとればよい。
- 問84** 運転者が車から離れてただちに運転することができない状態のときは、駐車である。
- 問85** 前方に障害物がある場合、その付近で対向車と行き違うときは、障害物のある側の車が減速や停止をして、道を譲るべきである。
- 問86** 原動機付自転車は、車両通行帯のない道路の交差点では、青信号で直進と左折はできるが、右折はできない。
- 問87** 児童・幼児が通学通園バスに乗り降りしているときは、乗り降りが終わるまで、後方で停止して待たなければならない。
- 問88** 図13のような手による合図は、徐行か停止をすることを表している。
- 問89** 自動車専用の出入口から3メートル以内の道路の部分、駐車はできるが、駐車は禁止されている。
- 問90** 自動車（二輪車を除く）は、歩道も路側帯もない道路では、路端から0.5メートルの部分を通行してはならない。
- 問91** 30キロメートル毎時で進行しています。どのようなことに注意して運転しますか？



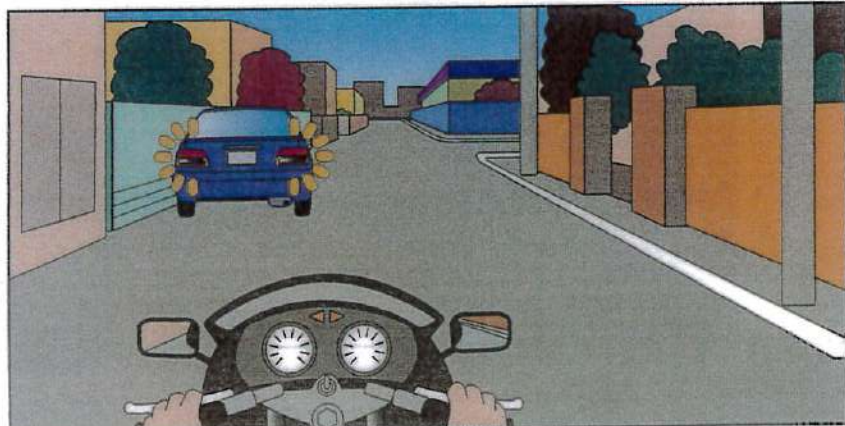
図12



図13

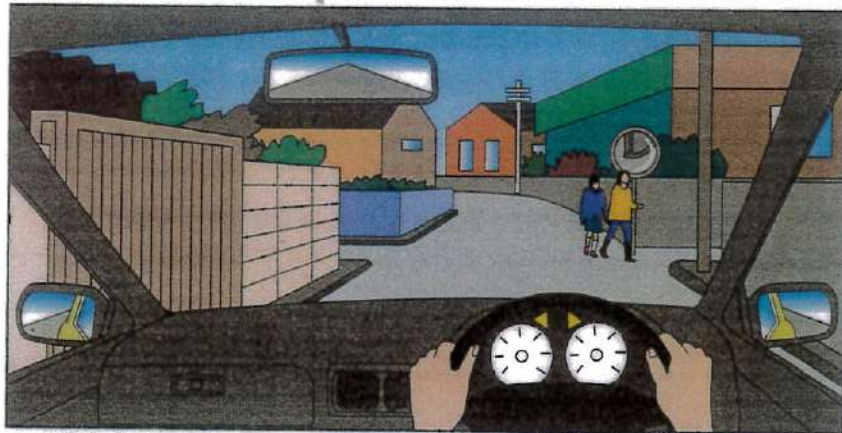


- (1) 子どもが遊びに夢中になって急に車道に出てくるかもしれないので、子どもの動きに注意しながら、速度を落として進行する。
- (2) 右側の路地から自転車や子どもが急に飛び出してくるかもしれないので、路地の手前で止まれるような速度に落として進行する。
- (3) 子どもが遊びに夢中になっているので、警音器を鳴らして注意を与え、このままの速度で進行する。
- 問92** 30キロメートル毎時で進行しています。前方に駐車車両があるときは、どのようなことに注意して運転しますか？



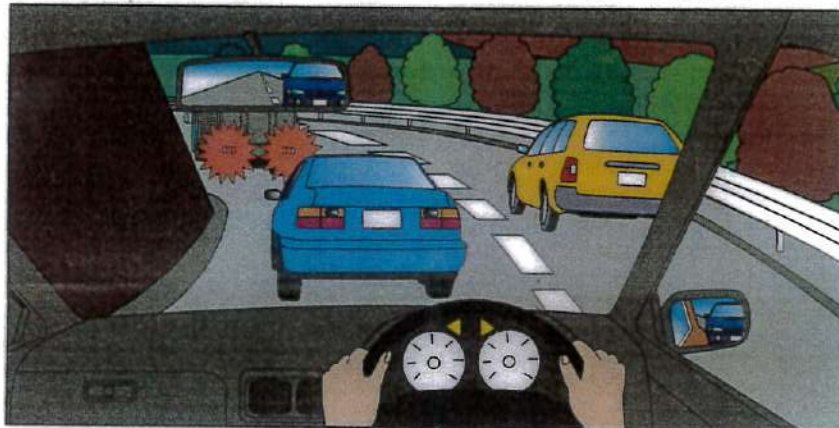
- (1) 駐車車両のドアが急に開くと危険なので、道路の右側に寄り、加速して通過する。
- (2) 駐車車両が急に発進し右折するかもしれないので、警音器を鳴らして通過する。
- (3) 前方の右側の道路から自転車などが飛び出してくると危険なので、できるだけ駐車車両に寄って通過する。

- 問93 30キロメートル毎時で進行しています。交差点を直進するときは、どのようなことに注意して運転しますか？



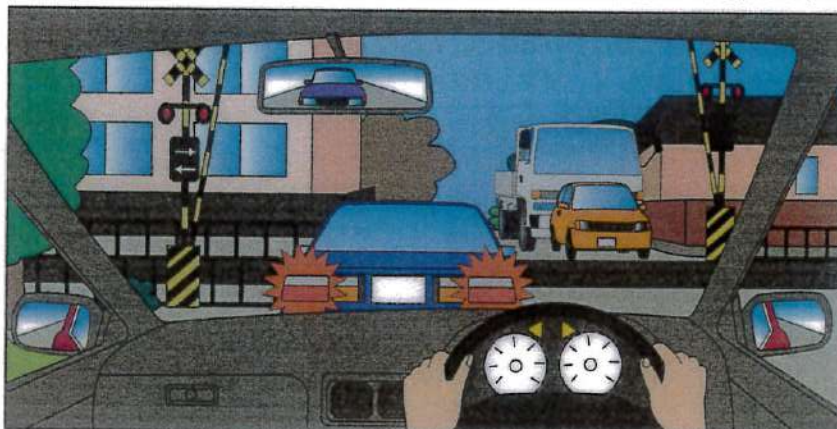
- (1) 前方の歩行者は横断を終わろうとしているので、交差点ではできるだけ左側に寄ってその動きに注意しながら、このままの速度で進行する。
- (2) 交差点の見通しが悪いので、その手前でいつでも止まれるような速度に落とす。
- (3) 交差する道路から歩行者が出てくるかもしれないので、カーブミラーや自分の目で左右の安全を確かめて進行する。

- 問94 高速道路を80キロメートル毎時で進行しています。どのようなことに注意して運転しますか？



- (1) 前方の車がブレーキをかけたので、危険を避けるため急いで追い越し車線に進入する。
- (2) 前方のトラックがブレーキをかけたので、前方の乗用車も減速すると考え、自分の車と前車との車間距離や速度の調節を早めに行う。
- (3) 制動灯が点灯していることは、見えない前方に何か原因があると考えたほうがよい。

- 問95 前の車に続いて止まりました。踏切を通過するときは、どのようなことに注意して運転しますか？



- (1) 前方のようすが分からず、踏切内で止まってしまうおそれがあるので、踏切の先に自分の車が止まれる余地があることを確認してから踏切に入る。
- (2) 対向車が来ているが、左側に寄り過ぎないようにして通過する。
- (3) 対向車線の乗用車の後ろのトラックと踏切内ですれ違うのに十分な道幅がないかもしれないので、前の車に続いて早めに踏切に入る。